

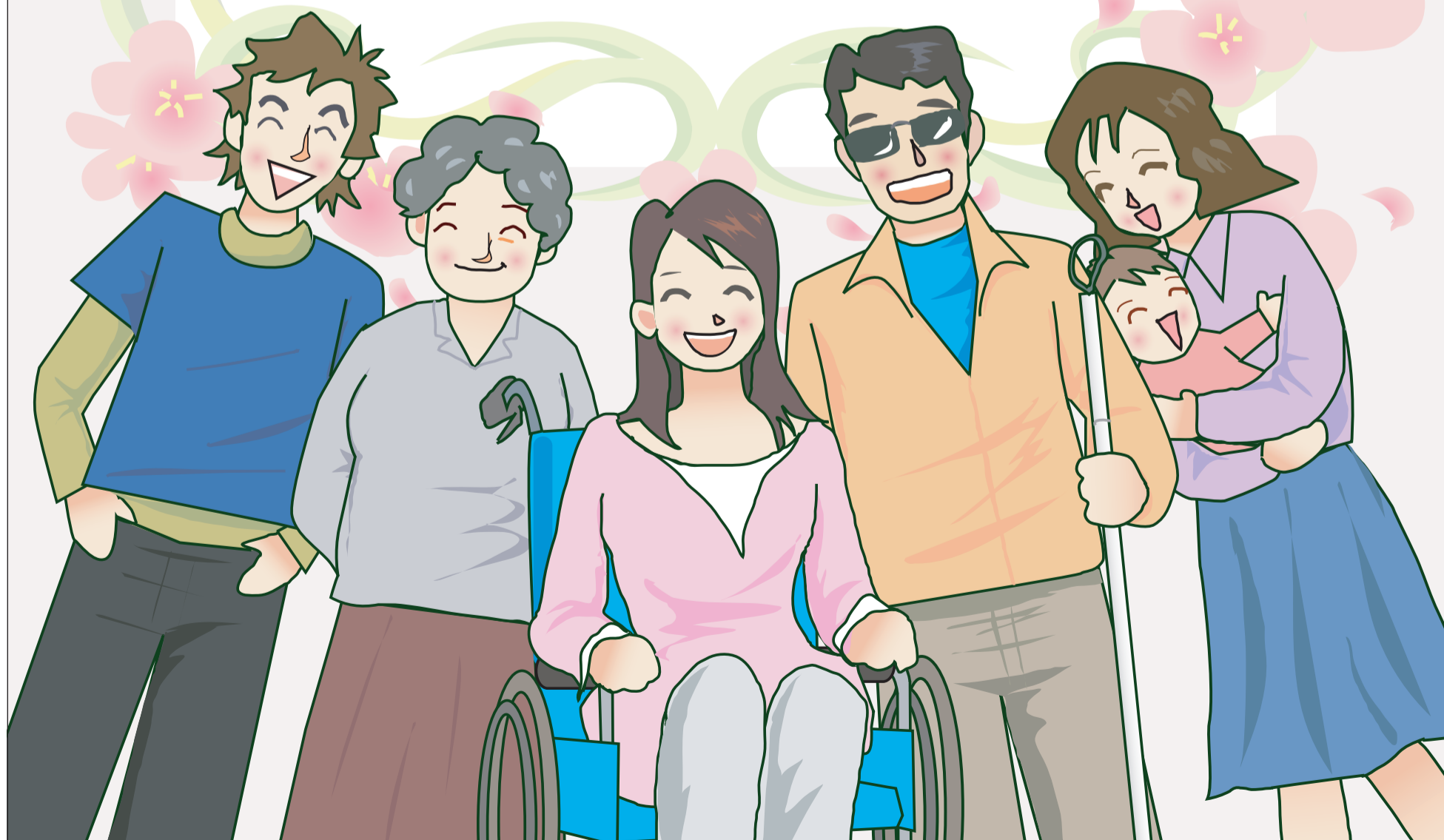
障害は誰にでも生じるものです。
本人や家族の責任で生じるものではありません。
障害の程度や状態は人によってさまざまで
けっして一様ではありませんが

「身体障害」

「知的障害」

「精神障害」

と大きく3つにわけられます。

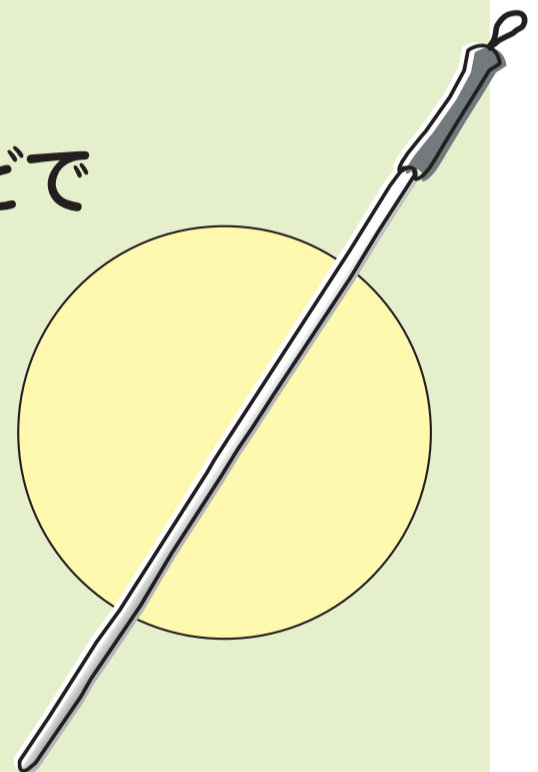
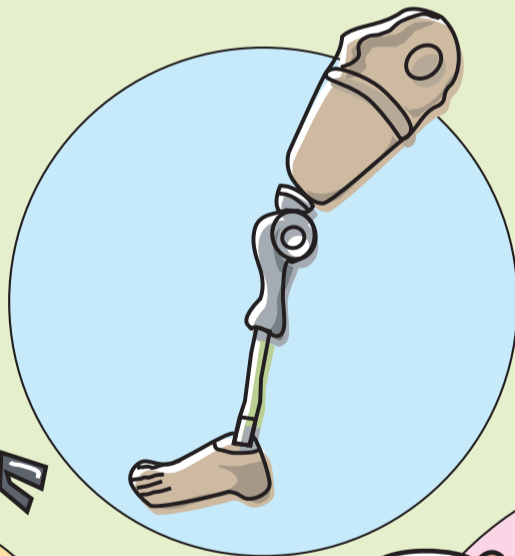


身体障害

肢体(手足)、視覚(目)、聴覚(耳)、内部(内臓)
などに障害があることをいいます。

でも

車イス・杖・義足を使ったり
メガネをかけたり
補助犬と一緒に行動したり
補聴器を使ったりすることなどで
不自由さを軽減することができます。



知的障害

知的な能力（物事を考えたり表現したりする）の発達に障害があり、生活に不自由がある状態のことです。

でも

わかりやすい言葉でゆっくり話せば会話が理解できる人もたくさんいます。

言葉がわからないときには、絵や図を使うことで理解できることもあります。

知的障害があるからできないと決めつけず、まず相手のことを理解することが必要です。



出前クッキング教室
(まあるい心 ちゃれんじどの応援団)

精神障害

考えをまとめたり表現したりすることがうまくいかず、不安になったり過敏になったりします。それが周りの人に理解されにくく、生活や仕事に不自由が生じる状態のことです。

でも

ほどよい励ましや助けを得ることや、悩みを相談することによって回復にむかう人もいます。

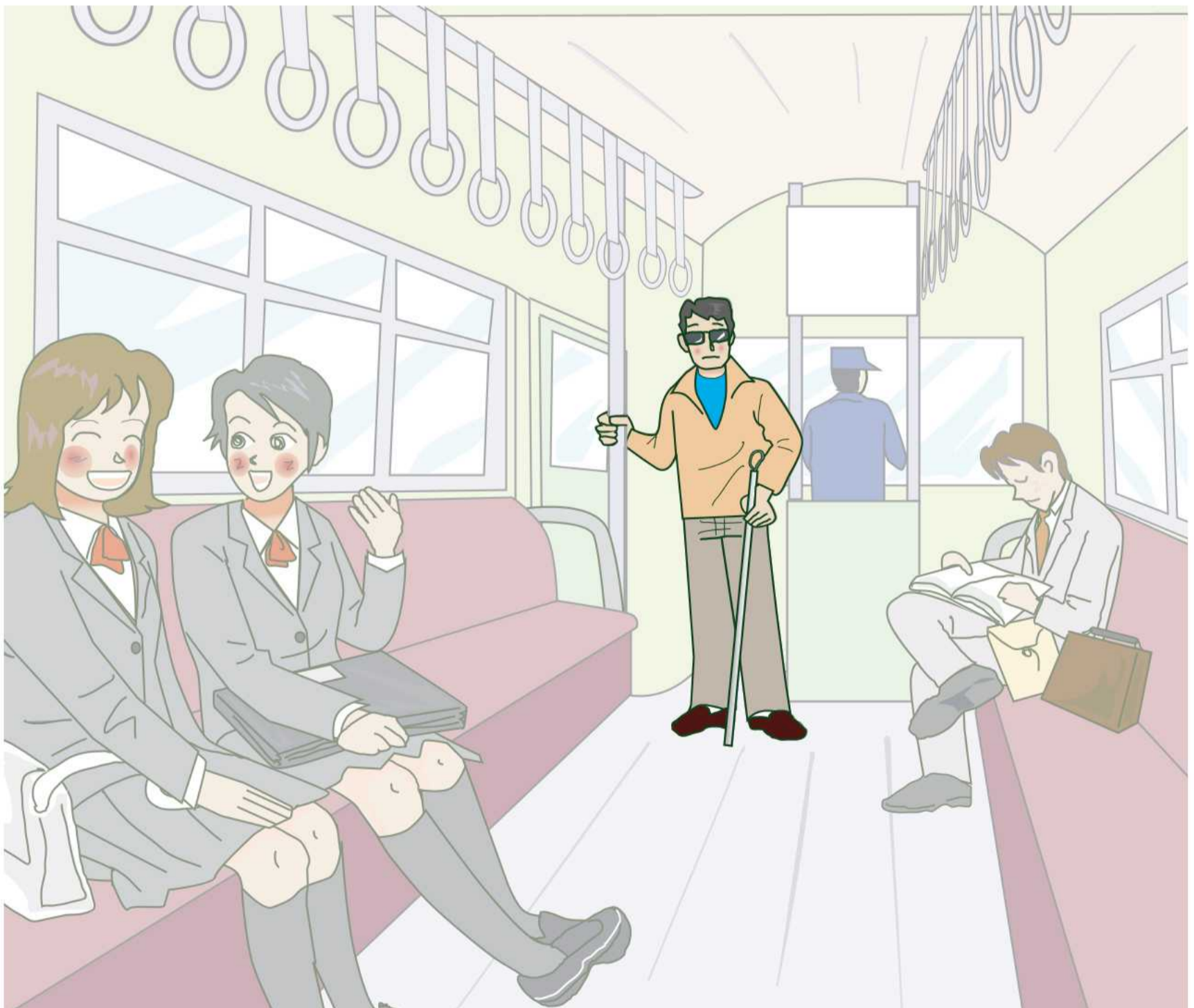
治療を受けたり福祉サービスを利用しながら地域社会で生活している人もたくさんいます。

精神障害を特別視せず、その人らしさを尊重して接することが大切です。



ふれあいの丘フェスティバル
(医療法人祥星会 聖ヶ丘病院)

こんな場面あなたなら どうする?どう思う?



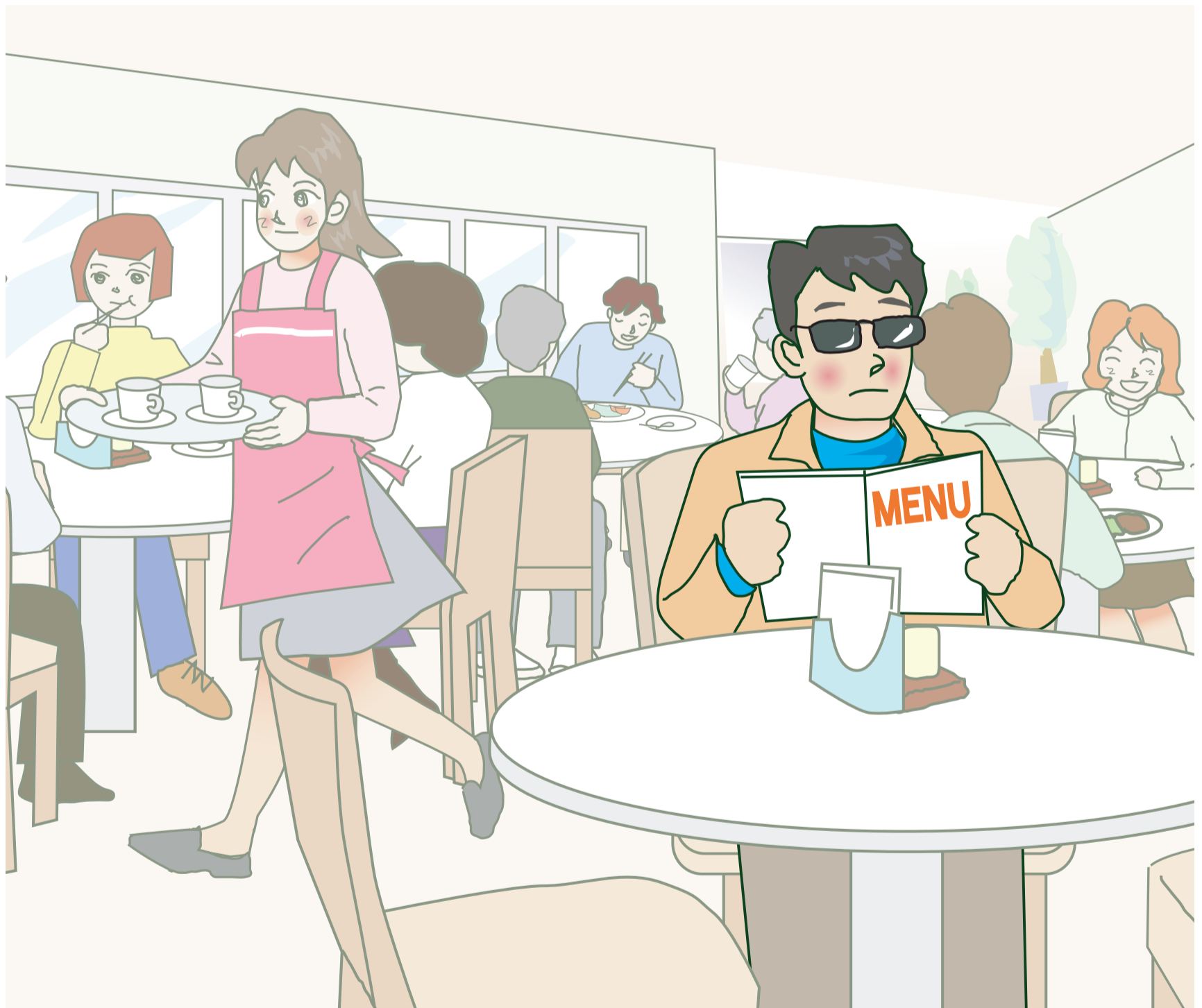
空席の多い電車の中、出口付近に、視覚に障害のある人が白い杖を持って立っています。

こんな場面あなたなら どうする?どう思う?



道路脇の溝のフタに、車イスのタイヤを取られて動けなくなっている人がいます。通勤途中でみんな足早にそばを通り過ぎていきます。

こんな場面あなたなら どうする?どう思う?



この飲食店のメニューには点字がありません。視覚に障害のある人が困っていますが、店内は混雑していて店員は気づきません。

こんな場面あなたなら どうする?どう思う?



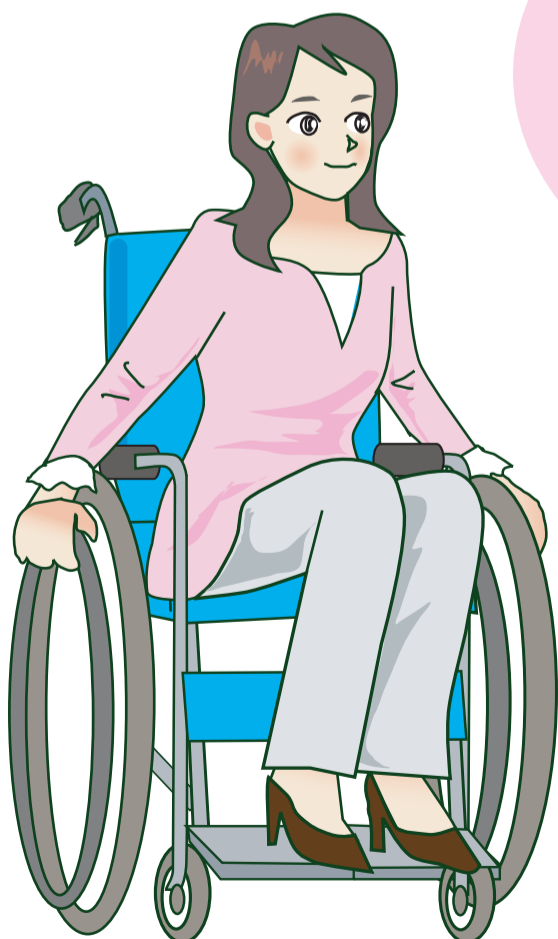
身体に障害があり車イスを利用してる友だちと一緒に
買い物に行きました。友だちが注文をしても店員から
の返事はあなたに戻ってきます。

私は出口に近い方が都合がいいんだよな。
サポートはありがたいけれど、思いこみで
いきなり腕を持ったりされると驚くなあ。
サポートが必要かどうか声をかけて
もらえると助かるよ。




どんな店にも
点字メニューが
あればいいのに。

助けが必要なときに、無視されたり
逃げるように避けられるとつらいよ。
困ったときには助けあえれば
いいのにな…。



私の買い物なのに、
なぜ私に話しかけて
くれないんだろう。



重要なことは
障害について学び理解し
障害を軽減するための支援を
していくことです。
障害のある人にとって、生きていく
社会や周りの在り方が
その障害を重くも軽くもします。
もしも、困っているような場面
であつたら、ひと声かけて
あなたにできることをしてください。
それだけで、障害を軽くすることも
できるのです。
障害のある人もない人も
一緒に助け合いながら、学校へ行き
遊び、仕事できる社会を
みんなでつって
いきましょう。